

留学生センターオープンフォーラム

「ブラジルから来たおじいちゃん」上映会

高木ひとみ

- 【日時】2009年6月11日（木）16：30～18：00
【会場】留学生センター棟2階 CALE フォーラム
【主催】名古屋大学留学生センター
【参加者】「多文化社会を生きる」基礎ゼミ生12名、
一般参加者等 約25名

留学生センターでは、「多文化社会を生きる」というテーマに基づいた基礎セミナーを開講しており、学部1年生を対象とした授業を実施している。この授業は、外国文化を持って日本で暮らす人々に焦点を当て、彼らの視点を通した日本を知ることによって、日本社会の課題に気づき、様々な文化を持つ人々が共にいけることについて考える機会を提供すること目的としている。授業の中で、留学生や地域に住む外国人等をゲストスピーカーとして招き、それぞれの立場での話をしてもらい機会を設けている。今年度は「日系の人々と文化」をテーマにした回において、「ブラジルから来たおじいちゃん」という映画の自主上映会を開催することになり、留学生センターオープンフォーラムとして、公開セミナーを開催することとなった。「ブラジルから来たおじいちゃん」という映画は、ブラジルに渡って73年経つ紺野堅一氏のドキュメンタリー映画である。映画の中では、紺野氏のブラジルでの生活、そして毎年訪問する日本で、出稼ぎに来ているブラジル人たちの話に耳を傾け、エールを送る姿、さらに自分自身の人生を振り返りながら、人生のエッセンスについて語られている姿が取められている。

今回、「ブラジルから来たおじいちゃん」自主映画上映会を、留学生センターオープンフォーラムとして開

名古屋大学留学生センター オープンフォーラム

日本人移民とデカセギのブラジル人
国境を越えて生きる人々の真実に迫るドキュメンタリー！

「ブラジルから来たおじいちゃん」上映会

UM SENHOR DO BRASIL
visitando brasileiros no Japão



ただいま92歳。
うんと前から
グローバルに生きてきた！
おじいちゃんがくれるのは、
お説教兼アドバイス、
教科書にのっていない
歴史のレッスン、
そして希望と勇気だ。
A passagem do senhor
Kanno ao Japão no auge
dos seus 92 anos é uma
viagem ao nosso
presente, passado e
futuro.

監督：
栗原名子
Direção:
Nanako
Kurihara

日時：2008年6月11日（木）16:30～18:00
会場：名古屋大学東山キャンパス
法政国際教育協力研究センター（CALE）2階
留学生センター棟2階> CALEフォーラム
定員：30名（定員になり次第、締め切らせていただきます） 参加費：無料
★申込方法：e-mailまたは電話にて、氏名・所属（学生の場合は学年）・電話番号を
6月5日（金）までにお知らせください。
★申込先：名古屋大学留学生相談室
（電話）052-788-6117（メール）isa@ecis.nagoya-u.ac.jp

ドキュメンタリー／製作：MuchaKU Lab／監督：栗原名子／2008年／日本／日本語・ポルトガル語／
字幕：日本語・ポルトガル語／59分／カラー／ミニDV／配給：アムキー／第21回東京国際女性映画祭招待作品
公式サイト：http://amky.org/senhordobrasil/

催したことにより、大学院生を始め、学内外からの参加者があり、映画鑑賞後のディスカッションにおいては、多様な見方や意見が出る機会となった。授業として受講していた学部1年生にとっても良い刺激になったようである。全体として、グローバルに力強く生きてきた紺野氏の姿から参加者は強いインパクトを受けていたようである。